

令和7年度 京都府医学振興会事業計画

当法人は、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行し、令和7年度で13年目を迎えることとなった。これまで、医療水準の向上及び地域社会の福祉の増進に寄与するため、医学研究に対する奨励、助成事業や、医学講演会の開催、医療に関する啓発普及事業などを実施してきた。

今年度は、これら事業を引き続き実施するとともに、病気と向き合う子どもと家族を支える施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス京都」（京都ハウス）の早期開設に向けた支援に取り組む。

（公益目的事業）

1. 医学研究・教育等支援事業

23,388千円

(令6…21,781千円)

（1）医学研究等支援事業・・・2,975千円

例年のおおりに、医学・医療研究者の研究成果発表の場となっている医科大学雑誌の充実を図るため、賛助会費等を募り支援する。

また、広く府民に還元される医薬品や医療機器の開発に携わる府内民間企業等の開発相談に応じることとし、革新的医薬品等開発支援事業を実施し、相談員にはその分野の専門知識を有する府立医科大学の教授に委嘱する。

（2）学会等支援事業・・・11,390千円

医学・医療の進歩発展に寄与することを目指して、府内で開催される学会等の公募を行い、選考で支援を決定した学会等の開催経費に対する寄附金を学会の代表者と当法人の代表者が協力して、企業、病院、団体等から募る。この学会等の趣旨に賛同されて寄せられた寄附金の範囲内で開催経費の一部を助成し、その学会等における研究成果の発表などを通して医学・医療の発展に寄与する。

（3）医学教育等支援事業・・・9,023千円

① 国際交流支援事業・・・557千円

国際的な感覚や視野を持った医学・医療研究者や医療従事者の人材の育成に寄与するために、府立医科大学国際学術交流センターを中心とした海外の大学、研究機関との国際交流や、医学・医療研究者や学生が

海外の医学・医療研究者、留学生などと国際交流を行う場合、当法人が参画又は支援する。

② **地域医療・教育推進支援事業・・・6,611千円**

府内の医療過疎地の医師確保対策として、シニアドクターに対する多様なセカンドキャリアへの提供や京都市中・北部地域等での地域医療を志す医師のキャリア形成支援を目的に京都府立医科大学附属北部医療センターが実施する「地域医療医リカレント教育プログラム」について、府内の医師確保対策に対応するため、コンテンツの作成経費や受講料に対する支援を行うとともに、「シニアドクターセカンドキャリア相談事業」として地域医療に精通されている病院長経験者等を専門相談員に委嘱し、様々な相談に応じる取組を進める。

また、災害時における救急医療体制の確保を支援するため「府内のDMATチームへの活動」に対して支援を行うとともに、京都府、府立医科大学、当法人の三者共同による府北部基幹病院での医学部生の現地体験型現場実習に支援を行う。

③ **医学研究者研究支援事業・・・1,855千円**

府内の医学研究者が育児、出産、介護、通院等と両立させながら、研究活動を継続できるよう、研究補助員の臨時的雇用経費の一部を支援する。

2. 医学医療・啓発普及支援事業

6,029千円

(令6…8, 469千円)

(1) **医学講演会等開催事業・・・3,520千円**

健康増進及び医学・医療に関する啓発普及のため、京都府民を対象とした「医学講演会」を府立医科大学等と連携し開催する。

また、子どもたちの命をはぐくむ小児医療についての理解を深めるための講演会等を実施する。

(2) **健康増進・啓発普及支援事業・・・2,509千円**

府民の健康増進及び医学・医療に関する知識の啓発普及を目的として、府立医科大学及び附属病院などが開催する講演会、研究会等や医学・医療の啓発、普及や情報提供の取組に対して、後援、協力などの支援を行う。

また、開催経費や医学・医療の啓発、普及や情報提供の取組に係る経費の一部を助成する。

3. 寄付財産の管理事業（公益共通）

0千円

(令6…2, 100千円)

保有していた寄附不動産については、令和6年度に売却を完了した。

（その他事業）

1. 「学術雑誌」の会員等への配付事業

3, 580千円

(令6…3, 148千円)

明治30年以降、当法人の会員の原稿を基に刊行されている医学研究誌「京都府立医科大学雑誌」に関する業務を京都府公立大学法人から委託を受けて、当法人の会員及び関係者などに配付し、医学・医療の発展に寄与する。

発行回数 毎月 年間12号

発行部数 会員・関連病院等 1, 000部

2. 学術情報（医学）提供事業

2, 992千円

(令6…3, 868千円)

府立医科大学附属図書館情報ネットワークサービス事業に加入の病院や診療所に対し、府立医科大学附属図書館と共同で同図書館や他大学等図書館などが所蔵する医学に関する学術情報を提供することにより、医学研究、医師の卒後教育等に貢献し、京都府の地域医療水準の向上並びに医学研究の発展に寄与する。

3. 医学教育（解剖）支援事業

740千円

(令6…740千円)

解剖による医学教育は、医師の養成、死因の原因追及、病因の病態解明など医学、医療の進歩発展に必要不可欠であり、府立医科大学ではご遺族に献体を要請して実施されていることから、同大学の解剖教育を支援するため医学・医療研究者、医学生等の関係者による納骨式及び追悼式を開催する。

納骨式 5月（土） 午後 安養寺（左京区栗田口）

追悼式 10月（土） 午後 西本願寺

4. その他（※法人会計に含む）

2,000千円

(令6…2,000千円)

患児とその家族を支えるための滞在型ハウス「ドナルド・マクドナルド・ハウス京都」について、早期の開設に向けた設計・建設等の支援に引き続き取り組む。